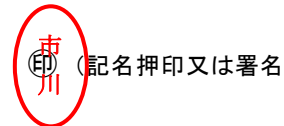


令和3年度子どもゆめ基金助成金申請書

令和 2 年 〇 月 〇 日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

郵便番号: 〒277-0000
住所: 千葉県△△市〇〇1-1
ふりがな: ゆめだいがくけんきゅうぐるーぷ
団体名: ゆめ大学研究グループ
代表者役職: 代表
ふりがな: いちかわ だいすけ
氏名: 市川 大祐



子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

活動計画表(その2)の活動数※1														
自然	件	科学	1	件	交流	件	社会奉仕	件	職場	件	総合・その他	件	読書	件
活動計画表(その2)の活動数の合計										1	件			

※1 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

助成金交付申請額 合計 416,000円

	氏名	年齢	自宅住所	勤務先/所属先	連絡順
ふりがな 団体代表者	いちかわ だいすけ 市川 大祐	50	千葉県△△市〇-〇-〇	ゆめ大学	3
連絡先	電話:04-0000-0000 携帯:090-0000-0000		FAX :04-0000-0001 E-MAIL:〇〇〇〇@hotmail.co.jp		
ふりがな 連絡担当者①	まつど けいこ 松戸 桂子	45	千葉県□□市〇-〇-〇	主婦	1
連絡先	電話:04-0000-0002 携帯:090-0000-0001		FAX :04-0000-0003 E-MAIL:〇〇〇〇@hotmail.co.jp		
ふりがな 連絡担当者②	まいはま みき 舞浜 美樹	40	千葉県◇◇市〇-〇-〇	△△ランド	2
連絡先	電話:04-0000-0004 携帯:090-0000-0003		FAX :04-0000-0005 E-MAIL:〇〇〇〇@hotmail.co.jp		

注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名記入してください。

2. 記載された個人情報は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 1 件中 1 件目)

団体名 ゆめ大学研究グループ

Table with 2 columns: ふりがな (からだの中のぞうき・そしきをじぶんのめでしらべてみよう) and 活動名 (身体の中の臓器・組織を自分の目で調べてみよう)

Main activity classification table with columns for activity field (体験, 読書), activity type (自然体験, 科学体験, etc.), and fiscal year (平成27年度, etc.).

Activity details table including: 活動場所 (ゆめ大学科学実験室), 参加者を募集する範囲 (千葉県内全域), 募集対象 (高校生), 募集人数 (20名 x 2回 = 延べ 40名), 募集方法 (チラシ), 参加費 (1,500円), 共催 (予定なし).

Activity period table: 活動期間 8月14日(土) ~ 8月15日(日)

Participant safety and health management table: 参加者の安全対策 (傷害保険への加入), 健康管理 (臓器・組織を見る体験は生理的な嫌悪感を持つ参加者もいるため...)

(活動数合計 1 件中 1 件目)	団体名 ゆめ大学研究グループ
ふりがな	からだの中のぞうき・そしきをじぶんのめでしらべてみよう
活動名	身体の中の臓器・組織を自分の目で調べてみよう

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

私達自身のことでありながらなかなか見ることのできない身体の中を題材とする。実際にヒトの臓器・組織を観察することで解剖学・組織学の知識を高めるとともに病理学等も紹介し、体の正常な状態、異常な状態について、さらには生命とは何かについて考えてもらう。参加者自らが作成した標本を自ら観察する体験の中で生命科学に対する理解・関心を深めるとともに、私達の体を題材とすることで身近な科学そのものに関する興味を引き出したい。

活動の目的やねらいを達成するために必要な具体的なプログラム名	具体的なプログラム名とプログラム内容を対応させること	活動名と主なポイント(箇条書きで3つまで)
<具体的なプログラム名>		<主なポイント>
組織の標本づくり		参加者が、身体の臓器・組織の構造とその各部の役割、各部位の関連を考えながらアルコール標本、染色標本等を作製する。
肉眼観察・顕微鏡観察		・身体の構造と機能について、観察し考察する。正常な臓器・組織だけでなく、病気によって異常な状態になった組織・臓器標本もあらかじめ準備しておき、比較観察を行う。
ディスカッション		・身体の構造と機能について学んだことをグループで話し合い、生命について、他者の意見も取り入れ、自分自身で考えをまとめる。

月	日	曜日	時間	プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)
8	14	土	9:00	集合
			9:20	開会式
				本日の体験活動のガイダンスと諸注意
			9:30	講義 病理学の講義 (市川)
			10:00	講義 自分の身体についての講義と染色実習に関する講義 (市川)
			11:00	実習①標本づくり 臓器・組織のアルコール標本等の作製 (■■■、市川)
			12:00	昼食
			13:00	実習②標本づくり 染色標本の作製 (■■■、市川)
			14:30	肉眼的観察 作成した標本の肉眼観察、顕微鏡観察 (■■■) 病理組織・臓器との比較観察
			15:30	ディスカッション グループで話し合う 各自のまとめの発表 (■■■、市川)
			16:30	本日の学習のまとめとアンケート調査
			17:00	閉会式
8	15	日		上記内容と同様の活動を実施する。
指導者名			【標本づくり】	■■■ ■■■ △△大学教授(外部講師)
			【肉眼的観察】	同上
			【ディスカッション】	同上
				市川 大祐 ゆめ大学教授(内部講師)
当日活動に携わる指導者等の人数 (実人数)			指導者	2 名
			協力者	4 名
			(うち、団体構成員の人数	2 名)

		団体名	ゆめ大学研究グループ		
(活動数合計 1 件中 1 件目)		活動名	身体の中の臓器・組織を自分の目で調べてみよう		
		金額(円)	積算内訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)		
支出の部	助成対象経費 A	謝金	60,000	指導者(当日)2名 10,000円×2名×2日 = 40,000 円 協力者(当日)2名(院生) 5,000円×2名×2日 = 20,000 円	
		旅費	7,000	指導者2名 1,000円×2日 = 2,000 円 協力者2名 2,000円×2日 = 4,000 円 協力者2名 500円×2日 = 1,000 円	
		雑役務費	-	= 円 = 円 = 円	
		印刷製本費	50,000	募集案内	10円×2000枚 = 20,000 円
				ポスター	60円×300枚 = 18,000 円
				テキスト	300円×40冊 = 12,000 円
		通信運搬費	22,960	募集案内(240校)	82円×240校 = 19,680 円
				参加者への連絡用	82円×40通 = 3,280 円
		借料損料	-	= 円 = 円 = 円	
		消耗品費	284,300	プリンタラベル	900円×2袋 = 1,800 円
インク	1セット = 2,100 円				
修了証書用紙	30円×40枚 = 1,200 円				
実験用消耗品	= 279,200 円				
		※ 内訳 別紙記載	= 円 = 円 = 円		
経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	-	= 円 = 円 = 円			
小計 A		424,260			
助成対象外経費 B		52,400	保険料(参加者・指導者) 200円×(20+6)×2日 = 10,400 円 昼食弁当代(参加者) 800円×40人 = 32,000 円 指導者謝金(事前打合せ) 5,000円×2名 = 10,000 円 = 円 = 円		
支出の総額 (A+B)		476,660	※ 収入の総額 と一致させること		
収入の部	子どもゆめ基金 助成金交付申請額	416,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、活動規模別限度額(市区町村規模:100万、都道府県規模:200万、全国規模:600万)を超えないこと		
	参加費収入	60,000	1500円×20人×2日 = 60,000 円 = 円		
	補助金・寄附金等				
	自己資金	660			
収入の総額 (=支出の総額)		476,660	※ 支出の総額 と一致させること		